

	事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
1	学生との連携によるうるしの里活性化（河和田アートキャンプ）事業	県内外の学生をうるしの里河和田地区に受け入れ、学生の持つ知性・感性・創造性を有効活用しながら、河和田地区内の豊かな地域資源である「越前漆器産業」や「眼鏡産業」などの地場産業をはじめ、田園や里山などの自然環境を活用した地域づくりを創造する。	通年	非公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ 53-2230	2大学 74人	参加学生からは、本事業を通して得られた貴重な経験に対する感謝が寄せられており、リピーターとして来年も参加したいなどの意欲的な意見が聞かれた。
2	日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業	北京外国語大学を中心とした中国人学生15人と東京外国語大学を中心とした15人の大学生計30人を対象として、活動研究テーマを設定し、地域住民と膝を交えた交流を図りながら、調査研究を行い、報告書を作成する。 ※日中交流学生団体「京英会」が主催する「日中相互訪問プロジェクト2013」における地方見学として実施する。	平成25年8月18日（日）～21日（水）	非公募	市民協働課 地域自治・市民活動グループ 53-2215	（京英会側） 東京外国語大学 11名 大東文化大学 1名 立教大学 2名 法政大学 1名 東京学芸大学 2名 玉川大学 1名 京都女子大学 1名 慶應義塾大学 1名 北京外国語大学 13名 中国人民大学 2名 北京大学大学院 1名 小計 36名 （福井側） 福井大学 5名 福井県立大学 3名 仁愛大学 2名 金沢大学 3名 小計 13名 合計 49名	<ul style="list-style-type: none"> ・今の日中関係やこれからの日中関係、自分たちの未来などの真剣な話もできて良かった。（Japan） ・言語や生活習慣をはじめ、日本に対する理解がより深まった。（China） ・国籍という垣根を越え、心と心で交流することができた（China） ・ともに住み、ともに食事をし、ともに学び、ともに笑い、ともに涙したこの日々は、この夏最も輝いたひと時でした（China） ・昨年お会いした鯖江市の方々が私のことを覚えていてくださったことに温かみを感じた（Japan）
3	日中友好協会「春節の集い」開催事業	中国語の堪能な東京の大学生を、日中友好協会が主催する「春節の集い」のボランティア運営スタッフに招く。	平成26年2月2日（日）	非公募	市民協働課 地域自治・市民活動グループ 53-2215	東京外国語大学 1名 立教大学 1名 計 2名	再び鯖江の方々とお会いすることができ、とても有意義であった。
4	児童センター活動事業	児童センターにおいて創作児童劇の公演をした後、児童に遊び等の指導をしていただく。	年2回	非公募	児童福祉課 母子児童グループ 53-2224	8/24 北中山児童センター 福井大学生 15名 （福井大学児童文化研究会） 12/7 本町児童センター 福井大学生 13名 （福井大学児童文化研究会）	劇には日々の生活習慣を正したり、やさしい気持ちになれるようなメッセージをこめている。劇や集団行動の遊びを通して、子どもたちに人はみんなつながっていると感じてもらえるよう今後ともこの活動に取り組んでいきたい。
5	ツアー型スポーツ交流事業	鯖江ブランド創造プロジェクト事業で提案のあった「ツアー型スポーツ合コン」を開催するため、県外の若者たちを招聘し、大会中は市の特産物や地場産業など鯖江のPRに努めるとともに、これを機に、課題としている市内三つの総合型地域スポーツクラブの連携・協働体制づくりに繋げ、生涯スポーツの振興を図ることを目的とする。	平成25年7月28日	非公募	スポーツ課 スポーツグループ 53-2260	県内外学生 21名	提案のあった明治大学からは2名の参加であったが、予想以上の内容で、とても楽しかったとの意見であった。
6	鯖江つつじマラソン	円滑な大会運営と地域ぐるみの大会を目指し、競技役員として参加いただく。	平成25年5月12日	非公募	スポーツ課 スポーツグループ 53-2260	丹南高校25名	日赤奉仕団の方々と一緒に活動を行ったため、戸惑いもなく、楽しい活動となった。今後も協力していきたい。
7	鯖江市スポーツ少年団リーダーズスクール	各単位団のリーダーを育成するために、企画段階から協力いただき、開催当日は指導者として参加いただく。	平成25年8月1日～2日	非公募	スポーツ課 スポーツグループ 53-2260	福井大学生約7名	大学生活では小学生との関わりが無いので、とても貴重な経験であり、楽しく活動できた。また大変勉強になる活動であった。

8	さばえ環境フェア	「さばえ環境フェア2013」の環境団体等ブースの企画、運営に参加して、環境市民の育成を推進する。	平成25年6月	非公募	環境課 環境グループ (エコネットさばえ) 52-0050	京都精華大学 7名 福井工業高等専門学校 11名 福井工業大学 4名	なし
9	こどもエコクラブ活動交流会	「こどもエコクラブ活動交流会」の運営にボランティアスタッフとして参加して、環境市民の育成を推進する。	平成26年2月	非公募	環境課 環境グループ (エコネットさばえ) 52-0050	福井工業高等専門学校 7名 福井県立大学 3名 仁愛大学 2名	概ね、大変だけど、楽しかったとの回答を得ている。また、こどものイベントにもっと参加したいとの回答も得ている。
10	公民館合宿通学事業	地域の大人たちとの交流の中で、コミュニケーション能力や家庭における基本的な生活習慣を身につけるため、小学校4年生以上の児童が地区公民館で宿泊しながら通学する事業にボランティアとして参加していただく。	5月～10月	非公募	生涯学習課 生涯学習グループ 53-2255	アートキャンプの学生3名	直接、子ども達と触れ合えることや地域の方々との交流から、貴重な体験ができて感謝しています。
11	農のある生活応援実践事業	県内外、学生社会人を問わず若い人達等が中山間地に集い、週末や休暇を利用して休耕田で、楽しみながら農業に親しみ、農産物を使った食事懇談や、創作料理、菓子などへの活用、朝市などでの販売活動、地域交流等を企画実施し、食と農や地域への理解を深めることにより、農作物の地産地消と耕作放棄農地の減少、地域間交流を推進し、地域の活性化を図る。	通年	公募	農林政策課 農林特産振興特産グループ 53-2232	県外の14大学・専門学校から、計64名の学生が鯖江を訪れ、農村・農業体験を市内各地で実施。延べ滞在人数は266人。	今後も鯖江を活動拠点としたい。地域の活性化活動に興味がある、地域に貢献したいという意見が多かった。
12	食と農さばえブランド化プロジェクト推進事業	1 本市にゆかりのある若者たちに本市のブランド野菜や農工商連携商品を全国にPRしてもらい、販路拡大につなげる。 2 鯖江産野菜等の食材について、ブログやツイッターに食感や味などの感想を載せてもらい、情報交換の中で、口コミでの広がりを誘発する。 3 大学学園祭等で、学生の協力により鯖江の食材を販売PRし、農産物の販路拡大につなげる。	通年	非公募	農林政策課 農林特産振興特産グループ 53-2232	8月のご縁市・誠市での出店に際して、学生団体と市内の若者が連携し吉川ナスバーガーを試作した。「WithPlus」として総勢30名(うち、学生20名)が企画し、ハネものになっていた吉川ナスやトマトなどの野菜の特徴・説明を加えて販売した。	来年度も実施したいという声が出ている
13	誠市	中心市街地の活性化を目的に開催される誠市への集客力アップと街なかの賑わいを創出するため、企画・運営に参加していただく。	毎月1回(4月～12月、3月の第2日曜日6:00～14:00まで)	非公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ 53-2230	仁愛大学から月1回の誠市実行委員会に1～2名ずつ出席し、こども向けのイベント等を企画。イベント当日にはそれぞれ、5名前後が参加。	様々な世代の方とふれ合える貴重な機会となった。自分たちの企画の反省点を改善し、次の事業内容を検討することができいい経験となった。
14	第6回「鯖江市地域活性化プランコンテスト」	鯖江市地域活性化プランコンテスト実行委員会にスタッフとして参加していただく。	平成25年9月7日～9日	公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ 53-2230	福井県立大学21人 福井大学1人 仁愛大学1人 福井高専5人 筑波大学1人 静岡大学1人	事業の運営に関わることができ、自己の成長につながったのではないかと思います。
15	ライフパートナー事業	教員を目指す学生とともに、不登校児のケア、学校への復帰の支援を行う。	通年	非公募	教育政策課 学校教育グループ 53-2253	福井大学生11人(男性6名・女性5名)が登録し活動している。	ライフパートナーの活動で得た経験を活かしていけるようこれから勉強などをがんばっていきたい。子どもとのいろいろな関わり方を見ることができて、いい機会だと思いました。ライフパートナーの活動で、子どもの気持ちを一番に考えることが大事だということを学びました。

16	明治大学との連携事業 鯖江ブランド創造	「鯖江市の強みと地域が抱える課題」を学生が取材し、そこから学生たちが鯖江市に対してどんな価値を提供できるか＝「鯖江ブランドの創造」を考え、提言する。	平成25年8月5日、6日 8月26日～29日	非公募	秘書企画課 秘書企画グループ 53-2263	8月5日・6日に市内で事前研修を行い、8月26日～8月29日の4日間、15名の学生が4グループに分かれて鯖江市でフィールドワークを行った。また、10月20日に明治大学で成果発表を行った。	行政のみならず、地元住民のみならずのあたたかな受け入れに学生一同大変な感銘を受けておりました。ありがとうございました。
17	金沢大学 まちづくりインターンシップ	まちづくり団体等ヘインターンシップを行い、市および団体にまちづくり提案を行う。	平成25年8月12日～23日	非公募	秘書企画課 秘書企画グループ 53-2263	金沢大学地域創造学類地域プランニングコース2年生4名が、8月12日～8月23日の12日間、鯖江市でまちづくりインターンシップを行った。	事前準備の重要性、コミュニケーション力、目標を達成するためのプロセス、目標達成の重要性、協調性、柔軟性について学ぶことができました。
18	学生活動拠点（らてんぼ） 活性化事業	「鯖江街なか賑わいプラン」推進の一環として、中心市街地の商店や住民と交流を図りながらイベントを開催するなど、街なかの賑わいに繋がる事業を展開していただく。	通年	非公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ 53-2230	学生団体withの活動拠点として活用。学生団体withを含め、延べ780名参加（2月末現在） 学生団体with:25人	街なかで自由に使える施設であり、会議や打ち合わせ等に非常に便利だと思う。また、設備も一通りそろっており、遅くまで利用できる非常に便利な施設だと思う。
19	鯖江市の魅力発信	鯖江市を紹介するために制作したフリーペーパーやホームページ、市内の風景やイベントなどを撮影した写真や映像を提供していただき、鯖江市の公式ホームページなどで紹介・公開する。	通年	公募	情報広報課 情報広報グループ 53-2203	【学生写真館】 丹南高校写真部3年生7人から計69点の作品提供。 丹生高校写真部1～3年15人から計27点の作品提供。 【さばえCM大賞】 福井高専、福井南高の学生から作品応募。	【学生写真館】 市HPのトップページに掲載され、3年生にとっては卒業の記念になるとともに、たくさんの人に見てもらえるということでモチベーションが上がり、よりよい作品づくりにつながる。 【さばえCM大賞】 市のチャンネルを通して制作した動画を多くの人に見てもらえるチャンス。これからも市の魅力発信に貢献したい。
20	丹南高校連携地場産業後継者育成事業	丹南高校の特徴（地域総合学科）を活かした事業を展開することで、地場産業への関心を高めるとともに就業機会の向上を図る。	7月～11月	非公募	商工政策課 鯖江ブランド推進グループ 53-2231	丹南高校2年生 53名・3年生 6名	市内に住んでいながら、めがね会館に行ったことがない生徒が多数おり、産地さばえの眼鏡に触れる非常にいい機会となった。

※ 非公募事業とは、すでに個別に交渉を行って進めている事業などで、相手方が特定されている事業のことです。